

<事業名> 芝居小屋ジンリキソニック2018

団体名	ジンリキソニック実行委員会
所在地	兵庫県豊岡市柘江
代表者名	平尾 仁

事業内容	<p>近畿最古の芝居小屋、永楽館を会場に入場無料のミュージックフェスを開催。地元但馬のアーティストから、京阪神、東京などで活躍するプロミュージシャンを招致し、地元の飲食店等にケータリングによる出店を依頼。さらに、高校生バンドバトルとの協力により、高校生バンドバトル優勝者に出演権を付与、社会人向けには弾き語りとバンドのオーディションライブを開催し、広く出演者を募る。但馬の音楽シーンの活性化を図ると共に但馬の魅力を広く発信、但馬内外からの集客をすることにより交流人口の増加につなげ、地元の若者が但馬の魅力を再発見し、ひいては地域全体の活性化を図る機会とする。</p>
地域	但馬地域全体
事業の効果	<p><b>①団体（組織）内の効果</b>          スタッフ同士や、出演者、出店者、お客様との新たなつながりができ、但馬の可能性、自分達ができることに対する可能性を感じる事ができた。          新たなメンバーの獲得につながり、仲間の輪が広がり、年代の幅も広がったことで多様な視点が得られるようになった。          全員に共通することとして、今回のイベントを通じて、地元に対する想いや音楽に対する想いが一層強くなったことは、間違いないと思われる。</p> <p><b>②地域への効果</b>          出演者や来場者から、会場である永楽館や出店者、出石の街に関しての発信が多数あった。どれも高評価であり、インスタグラム等のSNSを通じて、広く情報が拡散された。今後、永楽館を利用したいと考える出演者もあり、新たな利用者層、使用方法の開拓にもつながった。また、会場である永楽館だけでなく、入場無料で出入り自由としたことで、出演者やお客様が多数、出石の街で食事や観光を楽しまれたことで、街全体の活性化につながった。さらにその様子についてもSNSで発信されており、これまで出石や但馬のことを知らなかった方へ情報が届き、興味を持っていただけたことで、今後の観光客の増加が見込める。          今回のイベントを通じて、地域のために何かしたいと思っている若者同士のつながりができたことで、新たな事業の展開が期待できる。</p>

事業経過	30年4月8日 6月2日 6月17日 6月23日 7月28日 8月11日 8月14日 8月18日 9月2日 9月8日 9月9日 10月14日 11月24日 31年 1月22日	実行委員会ミーティング A i t y 7階 会議室 実行委員会ミーティング 太夫座オーディション出演バンド選考会 出石クリーン作戦 実行委員会懇親会 太夫座オーディション 実行委員会ミーティング バンドオーディション 高校生バンドバトル ポスター準備 柴山あさいちや 宣伝ブース出店 ジンリキ工作部（必要物品作成） 機材搬入、会場設営、リハーサル 芝居小屋ジンリキソニック 開催 スタッフ打ち上げ スタッフ反省会&次年度へ向けて 精算確認
協働の相手方	指定文化財 永楽館 NPO法人 プラッツ ライブハウス DAYLIGHT	
今後の課題等	<事業を実施する上での課題> ①団体（組織）の課題 スタッフの不足：全員社会人であり、家庭のある人も多い。動ける日、時間が限られる。 助成金関係の手続きやスポンサーへの依頼など、平日に動けるスタッフの確保が必要。 計画的運営：スタッフの不足から、準備、広報が予定よりも遅れがちになる。スタッフは機材班、デザイン班とコアスタッフというグループを作っているが、それぞれのグループでの運営と全体での情報共有が不十分。全体的なスケジュール管理ができておらず、一部のスタッフに負担が偏っている。 資金面の不安：入場無料で実施しているため、確実な収入源の確保が必要。 広報力の不足：情報発信を強化する必要がある。準備の遅れも含め、まだまだ届いていない。 スタッフ不足により、広報担当者を設置できておらず、コアスタッフが他の業務と兼任している状態。専任の担当者が必要。 ②地域の課題 交通の便：公共交通機関がバスかタクシーしか無い。	

地元だけでなく県外からも来場いただいているが、宿泊無しでは来ることができないという声を聞いている。

京阪神からも、電車とバスを乗り継いで来なければいけないため、不便と言わざるを得ない。車の免許の無い高校生以下の方は来にくい。

### 〈31年度以降の事業計画〉

- ・永楽館での開催は継続する。
- ・スタッフの負担および周辺住宅への配慮から、出演者を減らし開催時間を短縮する（終了時間を早くする）
- ・実行委員スタッフの新規獲得を目指す。直前のみでなく、通年募集をしていく。
- ・年間を通じて、イベントをアピールできるよう、イベント前だけでなく活動を継続する。
- ・但馬や周辺地域の他のイベントや団体とのつながりを構築し、スタッフを派遣し合う、イベントブースの設置など、お互いに協力し合える関係を目指すことで、スタッフ不足と広報力不足の改善を図る。
- ・スポンサーへの依頼を強化し、収入源につなげると共に、地元企業の理解と協力を得ることで、地域全体で盛り上げるイベントを目指す。



2018年 6月 23日

太夫座オーディション



2018年 8月 15日

ポスター貼り



2018年 8月 18日

柴山あさいちや



2018年 9月 2日

ジンリキ工作部



2018年 9月 8日

前日準備



2018年 9月 9日

芝居小屋ジンリキソニックライブ (プロミュージシャン)



2018年 9月9日

芝居小屋ジンリキソニック バンド (高校生)



2018年 9月 9日

芝居小屋ジンリキソニック バンド (アマチュア)



2018年 9月 9日

芝居小屋ジンリキソニック ケータリング